

(様式第9号)

中小企業エネルギーコスト削減助成金  
交付申請書兼実績報告書

令和〇年〇〇月〇〇日

【代表団体】

長野県中小企業団体中央会 会長 様  
<長野県中小企業GX推進事務局>  
(一般社団法人長野県経営者協会  
長野県中小企業団体中央会  
一般社団法人長野県商工会議所連合会  
長野県商工会連合会)

令和6年7月22日(ただし確認(内示)日が  
令和6年7月22日以降の場合はその日)~  
令和7年1月31日

(申請者) ※1

事業計画書と同一

住所 長野県長野市川中島1234  
法人番号  
名称(商号又は屋号) 有限会社 中華亭 風林火山  
代表者 役職・氏名 代表取締役 武田晴信

中小企業エネルギーコスト削減助成金交付規程第8条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて申請します。  
なお、本申請書及び関係書類に虚偽や不正がないことを申し添えます。

記

実績報告の金額(税抜き)

1 対象経費及び交付申請額

(1) 対象経費	金	2,698,555円
(2) 交付申請額	金	1,599,277円

2 実施した内容

(別紙) 実績報告のとおり

日本標準産業分類の大分類  
間違い多し

直近期の金額

3 事業者の概要 ※1

主たる業種 ※1 ※2	宿泊業, 飲食サービス業	売上高(円)	28,000,000
資本金額(円)	1,000,000	営業利益(円)	8,150,000
従業員数(人) ※3	4	経常利益(円)	5,000,000

※1 公表項目となります(助成事業者名、法人番号(法人の場合)、住所(市町村名)、主たる業種、取組の概要)

※2 日本標準産業分類の大分類を記載してください。

※3 常時使用する従業員の数であり、労働基準法第20条の規定に基づく、「予め解雇の予告を必要とする者」となります。なお、常時使用する従業員に含めるか、否かの判断に迷った場合は、地域の商工会・商工会議所にご相談いただけます。(常時使用する従業員がいなければ、「0人」と記入)

(添付書類) 【詳細は手引き参照】

[全事業者提出] 交付申請・実績報告提出書類一覧(チェックリスト)、助成要件確認書(様式第3号)、取得財産等明細表(様式第14号)、見積書・発注書・納品書(検収サイン付)・請求書・支払確認ができる書類(振込の控え・通帳)の写し、導入設備の写真・配置図・平面図・設置場所の写真(申請時の写真と同一アングル、エアコン等内・外に分離している設備は両方の写真及び両方の位置必須)、経費支出管理表(GX様式第5号)、現地調査チェックシート(GX様式第6号)

[更新のみ事業者提出] 更新前設備の廃棄証明書(様式第10号)、マニフェストB2票以降のいずれか1枚の写し、フロン回収証明書の写し又は家電リサイクル券・排出者控の写し、更新前の設備の所有を確認する書類:更新前設備の記載がある資産台帳又は売買契約書、(これらがなくて建物等を所有している場合)建物の不動産登記簿謄本・説明文(印)・導入前設備の写真、(これらがなくて建物等を賃借している場合)賃貸借契約書の写し・貸主の確認文(印)・導入前設備の写真

(注) 上記資産台帳は、個人事業者の場合青色申告の方は3面、白色申告の方は2面の提出に代えることができます。

(担当者連絡先)

担当者所属・役職・氏名	代表取締役 武田晴信		
電話番号	090-123-5678	FAX番号	026-123-5679
Eメールアドレス	*****@gmail.com		

<実績報告>

事業計画書と同一

I. 助成事業の内容

1. 取組の概要<sup>※1</sup>(様式第1号事業計画書の1.取組の概要をそのまま記載)

設備の省エネ化の取組によりコスト削減・収益改善を図る

2. 対象設備の更新・新設を実施した建物等の名称及び所在地

名称: 中華亭 風林火山                      所在地: 長野県長野市川中島 1234

実際の支出金額(税抜)

3. 導入した設備及び対象経費の内訳

① 導入した設備の設備区分及び設備種別等

導入設備番号	設備区分	設備種別	数量(台)	対象経費の額(円)
1	空調・換気設備	業務用エアコン	3	1,200,000
2	照明設備	一般用 LED 照明器具	10	153,555
3	冷蔵・冷凍設備	業務用冷蔵・冷凍庫	1	1,345,000
4				
5				

見積書・発注書(契約書)・納品書・請求書・支払を証する書類を添付

既存設備の売却益があった場合、振込手数料が相手先負担の場合の控除計算例は文末参照!

② 助成金申請額の内訳

設備区分	対象経費の額(円)	補助率	助成金申請額(円)	備考
① 発電設備以外 (対象経費 150 万円以下)	1,500,000	2/3以内	1,000,000	
② 発電設備以外 (対象経費 150 万円を超える部分)	1,198,555	1/2以内	599,277	
(小計)	2,698,555		1,599,277	①+②
③ 発電設備 (出力: kW)		4 万円以内 / kw		
(小計)				③
合計	2,698,555		1,599,277	①+②+③

4. エネルギーコストの削減に関する取組内容等

市街地の中華料理店において、以下の取組を行った。

- 20 年超使用した、旧態化し熱効率が悪いエアコン店内2台・厨房 1 台を、コロナ対策として一般型壁掛け式の換気機能付き・無給水加湿機能付きの最新省エネモデル 3 台に交換した。  
(JIS C 9612)
- 20 年超使用した、旧態化し熱効率が悪く寿命が短い蛍光灯 2 本組の照明 10 基を、光源の交換はできないが寿命が長い、器具一体型の LED シーリングライト 10 基に交換した。  
(JIS C 8115) トイレ照明は人感センサー付きにした。
- 20 年超使用した、旧態化し熱効率が悪い冷凍冷蔵庫を、一定の内部容積を確保しつつ現在よりも一回りコンパクトで静音・省エネである最新の業務用冷凍冷蔵庫に交換した。テイクアウトに対応するため作り置きができる冷凍機能が充実した 6 扉モデルとし、動線を考慮した設置とした。  
(JIS C 8630)

・事業計画書の対象経費に応じて記載  
・取組めなかった項目がある場合や変更した場合はその理由と所期目的達成に向けた対応を記載



自己負担であっても、計画書に記載した取組は全て報告する

上記(1)～(3)に加え、来店客への安心安全感の提供、明るい店舗によるイメージアップ、作業効率の改善、テイクアウト需要への対応のため、自己負担で次の取組を行った。

- ・ 断熱性が高い白い壁紙に交換し、店内を明るい清潔なイメージにリフレッシュ
- ・ 店名ロゴ・キャラクターデザインの製作 ▶ 入口ドア・窓の装飾、ショップカード、土産袋に活用
- ・ 高齢者等への安全対策としてトイレ及び店内各所に手すりを設置
- ・ 入口にテイクアウト窓口を設置
- ・ タウン誌にテイクアウト商品告知のため割引券付き広告を2回掲載(〇月・〇月)
- ・ リサイクル可能な調味料容器の使用と詰替使用の徹底、節水型自動水栓導入

直接的な効果は勿論、副次的効果・周囲の評価も記載

#### 5. 助成金の活用による効果等

- (1) 空調を最新のエアコンに交換したことで、電気消費量と電気代の削減が実現したのはもちろん、作動音が静かで店内BGMがよく聞こえるようになった。また、入口ドア・窓および店内に、「換気中」「空気清浄中」のステッカーを複数掲示することで、来店客に大きな安心感を与えることができた。
- (2) 照明をLEDに交換したことで、電気消費量と電気代の削減が実現したのはもちろん、店内が大幅に明るくなり、調理の手元が見やすく作業効率と安全性が改善された。また来店客からは、清潔感が増した、雑誌等が読みやすくなった、料理が美味しそうに見える、等の好評をいただいている。
- (3) 業務用冷凍冷蔵庫を交換したことで、電気消費量と電気代の削減が実現したのはもちろん、従来の冷蔵庫は冷凍に時間を要し、ムラな面があったが、内部容積に余裕があるため冷気が行き届きその心配が無くなった。また外寸が小さくなり動線を改善できたこともあり、調理時間が短縮でき、来店客からはテイクアウトの待ち時間が短くなったとの声をいただいている。
- (4) 本取組を通じ、現時点において電気使用量を大幅に減少させる省エネ機能を実感でき、同時にエネルギーコストの削減の能力を確信する効果があった。
- (5) 今後は「中小企業エネルギーコスト削減計画書」の導入後(計画)が実績となるよう、常に関心を持ち、使用方法の継続的な改善の下、運用することとする。このことは、省エネ意識を更に高める効果があり、今後の省エネ推移を期待している。

この経費削減で、経営状態が改善されていくことを予想するとともに、店舗のイメージが向上し販売促進上も大きな効果があった。今後も省エネやリサイクル、安全対策を積極的に推進し、SNSや広告媒体を通じてSDGs先進食堂として知名度向上を図り、固定客の増加と新規客の開拓、売上増加を実現していきたい。

**既存設備の売却益があった場合、振込手数料が相手先負担の場合の控除計算例**

このどちらの場合も対象経費から控除されます。下記は既存設備の売却益が 20,000 円(税抜)、相手先負担振込手数料が 300 円(税抜)の場合の計算例です。

この計算結果に基づき、1ページの対象経費及び交付申請額も下記のように修正してください。

1 対象経費及び交付申請額

- (1) 対象経費            金 2,678,255 円
- (2) 交付申請額        金 1,589,127 円

3. 導入した設備及び対象経費の内訳

① 導入した設備の設備区分及び設備種別等

導入設備番号	設備区分	設備種別	数量	対象経費の額
1	空調・換気設備	業務用エアコン	3	1,200,000 円
2	照明設備	一般用 LED 照明器具	10	153,555 円
3	冷蔵・冷凍設備	業務用冷蔵・冷凍庫	1	1,345,000 円
4	既存設備売却益			▲20,000 円
5	相手先負担振込手数料			▲300 円

② 助成金申請額の内訳

設備区分	対象経費の額	補助率	助成金申請額	備考
① 発電設備以外 (対象経費 150 万円以下)	1,500,000 円	2/3以内	1,000,000 円	
② 発電設備以外 (対象経費 150 万円を超える部分)	1,178,255 円	1/2以内	589,127 円	
(小計)	2,678,255 円	/	1,589,127 円	①+②
③ 発電設備 (出力:            kW)	円	4万円以内/kw	円	
(小計)	円	/	円	③
合計	2,678,255 円	/	1,589,127 円	①+②+③